

てんまばし すみよしひがし
 京阪本線 **天満橋駅** (大阪市) ~ 南海高野線 **住吉東駅** (大阪市)

歩行距離 10.6km
 標準歩行時間 2時間13分
 標準所要時間 5時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

京阪本線天満橋駅そばの八軒家船着場跡から出発し、谷町筋と平行する御祓筋を南へ。市街地であるこの辺りにも、ところどころに古い家並みが残っています。上皇、法王をはじめ熊野詣の人々が参拝した四天王寺、住吉大社に立ち寄ることができます。このエリアは交通量も多いので、十分に注意して歩きましょう。



窪津王子~阿倍王子

<窪津王子>熊野参詣の陸の出発点となる九十九王子の第一社。渡辺王子、大江王子とも呼ばれていました。その位置は不明ですが、坐摩神社にあったと伝えられています。<坂口王子>かつての朝日神社跡が坂口王子であったといわれ、「朝日神社跡」の碑が南大江公園にあります。<郡戸(こうづ)王子>高津は昔、郡戸と書いたといわれています。藤原定家の『熊野縁起』などから郡戸王子は高津宮回りと考えられますが、確かなことは不明です。<上野王子>「上野王子はいまの上ノ宮なるべし」と撰津名所図会にあります。かつての上ノ宮神社は今の上之宮町にあります。大江神社に上野王子が合祀されています。<阿倍王子>阿倍王子神社は大阪市内に残る唯一の熊野九十九王子です。境内には古い樟の木が数本あり街道の歴史を感じさせます。藤原定家の『熊野御幸記』にも記され、江戸時代には若一王子とも呼ばれていました。

推古天皇元年(593)に、聖徳太子が創建。西門は極楽浄土の東門に通じるといわれてきました。後白河法皇、法然上人をはじめ熊野詣の人々はその途中に参詣しました。これから訪れる遥か彼方の熊野権現を拝んだとされる「熊野権現禮拝石」が保存されています。

四天王寺

推古天皇元年(593)に、聖徳太子が創建。西門は極楽浄土の東門に通じるといわれてきました。後白河法皇、法然上人をはじめ熊野詣の人々はその途中に参詣しました。これから訪れる遥か彼方の熊野権現を拝んだとされる「熊野権現禮拝石」が保存されています。



住吉大社

全国に約2300社ある住吉神社の総本宮。「お祓い」「海上安全」「和歌」「農耕」の神であり、藤原定家「熊野御幸記」では、和歌の披露が行われたとあります。四棟からなる本殿は神社建築史上最古の様式の一つで、国宝建造物に指定されています。



スタート地点までの電鉄情報

大阪方面へ 東梅田駅 大阪市営地下鉄谷町線 約5分 天満橋駅

大阪方面へ 淀屋橋駅 京阪本線 約3分 天満橋駅

帰りの電鉄情報

大阪方面へ 住吉東駅 南海高野線 約11分 なんば駅

和歌山方面へ 住吉大社駅 南海本線 約6分 堺駅 特急 約46分 和歌山市駅

